

一枚の画像からの三次元形状推定

Date/日時 : 令和3年11月19日 (金) 13:35~14:50

Place/会場 : Webexによるオンライン開催

Speaker/講演者

鷺見 和彦 氏

青山学院大学 理工学部 情報テクノロジー学科 教授

Abstract/概要

1枚の画像から、そこに映った情景の三次元奥行きを認識することは、機械の視覚（コンピュータビジョン）における古くからの重要課題である。近年の深層学習の進歩によって、この三次元深度推定問題も進歩が著しいが、全く手掛かりのない状態で正確な深度推定をすることは現在でも困難である。実応用においては、ステレオマッチング、部分的な距離センサー、部屋の形状など、奥行きの手がかり情報が得られることが多い。これらの手がかり情報を有効活用できるような深層学習ネットワークについて、私たちの研究室での最新成果をご紹介します。

Biography/経歴

鷺見 和彦（すみ かずひこ）

京都大学博士（工学）

1982年京都大学工学部電気工学科卒業

1984年 同大学院修士課程電気電子工学専攻修了

同年 三菱電機株式会社生産技術研究所勤務

その後、産業システム研究所、先端技術研究所勤務を経て

2011年から青山学院大学理工学部情報テクノロジー学科教授（現職）

その間 1989年 メリーランド州立大学客員研究員

2003年-2006年 京都大学大学院情報学研究科研究員(COE)客員教授、
神戸大学システム情報学研究科客員教授

専門分野は画像の認識理解およびセキュリティ

情報処理学会・電子情報通信学会(フェロー)・計測自動制御学会・ロボット学会会員